

かけはしがわ



発行 国土交通省金沢河川国道事務所

油類の河川への流出事故が多発する時期です！！

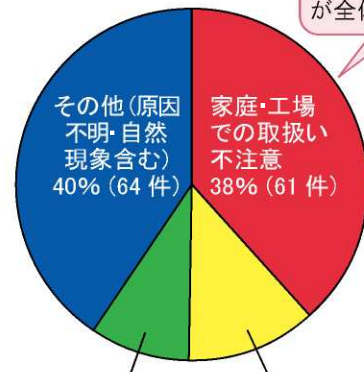
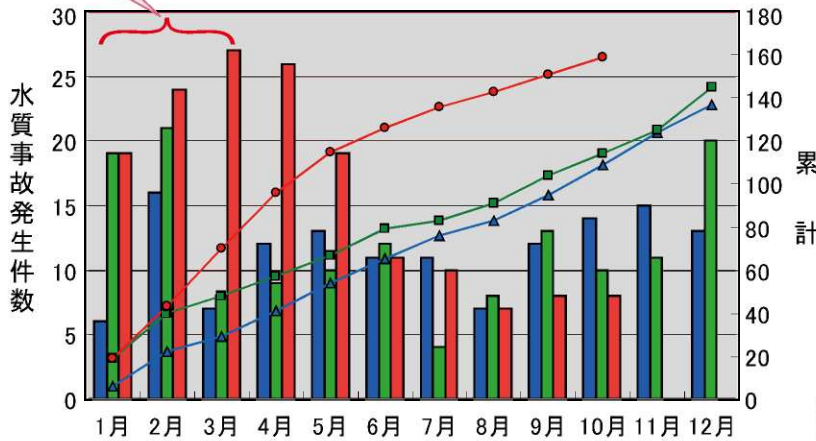
冬期間は暖房器具の灯油など、家庭で油類を使用する機会が増えてきていますが、それに伴い、油類が河川に流出する事故の危険も増えてきます。油類流出事故の多くは人の不注意によるものが多く、**みなさんも油類の取り扱いにはより一層ご注意ください。**河川で油類（水質事故）を発見しましたら、ただちに最寄りの消防署・警察署・市役所・県土木事務所・国土交通省小松出張所へ連絡をお願い致します。

◆月別の水質事故発生件数（平成20年～平成22年10月）

◆水質事故の発生原因（平成22年1月～10月）

冬期間は水質事故発生件数が多い

■ 発生件数(平成20年) ■ 発生件数(平成21年) ■ 発生件数(平成22年)
▲ 累計(平成20年) ■ 累計(平成21年) ● 累計(平成22年)



人の不注意による事故が全体の30%以上

※このグラフデータ（発生件数・発生原因）は、北陸地方整備局調べによる。

11月2日（火）、油流出による被害拡散防止が迅速に行えるように、国・県・市町・消防の職員約40名が集まり梯川の九竜橋川排水機場内(小松市下牧町～丸の内町)にて水質事故対応訓練を行いました。初めに、オイルフェンスの連結方法や流出油の種類・特徴等に関する講習会を行いました。その後、梯川本川との合流点などでオイルフェンスや吸着マットを設置する訓練を実施しました。なお、実際の事故において、水質事故の原因者が特定されれば油回収にかかる費用（吸着マット等）は原因者へ請求します。

油回収の際のポイント

- できる限り漏油元に近いところで、早急に油を封じ込めます。
- 取水口などには特に油が流れ込まないようにします。
- 河川などに流出した油は、薄い油膜にいたるまで綺麗に回収しなければなりません。
- 油処理剤や油中和剤よりも、出来る限り、吸着マットやオイルフェンスを使用して油の拡散を防止します。



講習会の様子



下牧町地先での訓練の様子



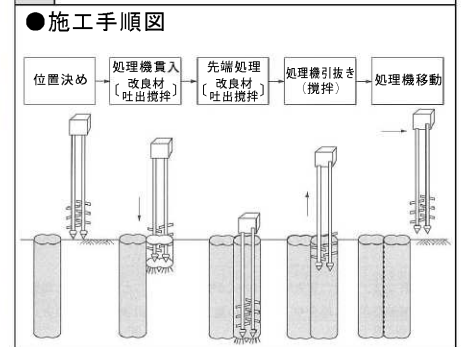
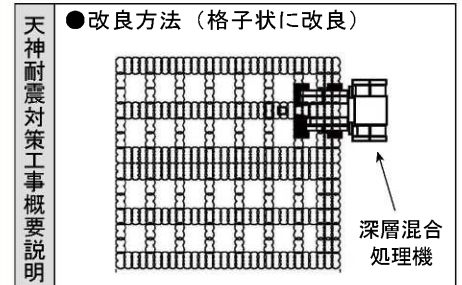
オイルフェンスにより油類の拡散を防止し、吸着マットで油類を吸い取ります。

オイルフェンス等は流れに対して直角に張らず斜めに張ることにより、自然にゴミが岸辺に寄るので回収しやすいです。直角に張ると流速が速い部分が下流に流されて弓型になりやすく漏油がおきやすいです。

改修工事の紹介

平成22年12月10日現在では、下記の7件の河川改修工事を施工しています。工事期間中はご迷惑をおかけすると思いますが、ご理解・ご協力をお願い致します。

	工事名	工期	請負業者
①	天神水管橋撤去及び大川町築堤工事	平成22年3月16日～平成23年3月10日	株式会社 江口組
②	大川町耐震及び築堤工事	平成22年3月20日～平成22年12月20日	株式会社 丸西組
③	大川町耐震工事	平成22年3月24日～平成22年12月20日	株式会社 吉光組
④	梯川天神耐震対策工事	平成22年9月29日～平成23年3月29日	中島建設 株式会社
⑤	梯川島田低水護岸工事	平成22年9月2日～平成23年3月30日	株式会社 江口組
⑥	梯川どうば川樋管改築工事	平成22年9月4日～平成23年3月23日	加越建設 株式会社
⑦	梯川大川町築堤及び市道付替外工事	平成22年11月16日～平成23年3月30日	株式会社 江口組



④ 梯川天神耐震対策工事 工事中

天神町周辺は軟弱地盤層が厚く分布しているため、新堤の施工に先立ち、深層混合処理工法にて地盤改良を行います。この工法は、施工手順図のとおり、改良材を現地盤から深さ1.5m程度まで吐出攪拌し、改良杭（杭径1m）を格子状に施工していき、地盤の強度を増す工法です。



天神耐震対策工事（施工基盤準備中）

⑥ 梯川どうば川樋管改築工事 工事中

昨年度は、どうば川樋管を除く上下流の堤防を施工しました。今年度は、どうば川樋管周辺の堤防と樋管の改築を行います。周辺にお住まいの皆様へは引き続き、ご理解・ご協力を宜しくお願い致します。



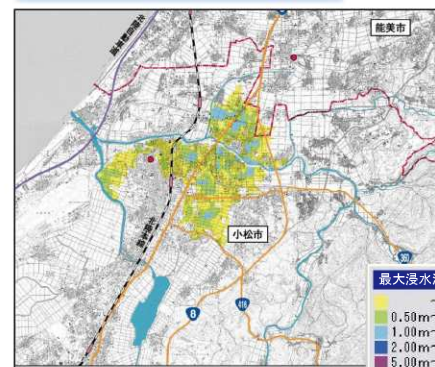
どうば川樋管改築工事（締切工事中）

改修事業の評価について

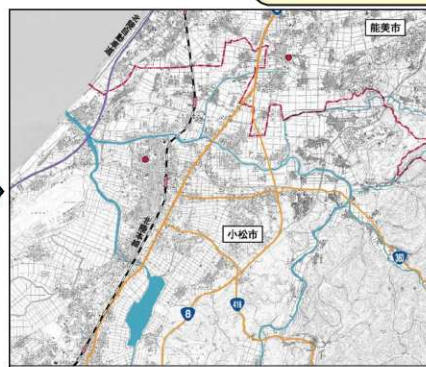
平成22年10月4日（月）に「北陸地方整備局事業評価監視委員会※」が開催され、梯川直轄河川改修事業の「**継続は妥当**」との評価を頂きました。

※「事業評価監視委員会」とは公共事業の効率化及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため第三者である学識経験者等に審議して頂くことを目的として平成11年度から制度化されているものです。

◆改修事業の投資効果



現況河道（平成22年度末）の氾濫シミュレーション



当面の事業改修後の河道（平成30年度末予定）※の氾濫シミュレーション

当面の事業改修後（平成30年度末予定）には、平成16年10月洪水規模の洪水を安全に流すことができます。

●氾濫被害

	現況河道	当面の事業改修後の河道
被害総額（億円）	914	0（-914）
被災人口（人）	13,243	0（-13,243）
床上浸水戸数（戸）	3,000	0（-3,000）
床下浸水戸数（戸）	1,616	0（-1,616）
浸水面積（km ² ）	8.8	0（-8.8）

※当面の事業とは？

重点改修区間【前川合流点（1.0k）～鍋谷川合流点（7.6k）】内の分水路整備、小松大橋の改築、築堤、旧堤撤去のこと。

小松市立第一小学校の総合学習

10月25日(月)、梯川手づくり学習館に第一小学校の5年生3クラス(計103名)が、総合学習にやってきました。梯川の洪水や生物、歴史についてなど各クラス4~6つのテーマ毎に班分けし、各テーマについて金沢河川国道事務所・小松出張所職員へインタビューして学習しました。その後、前川排水機場を見学して排水機場の役割などを学びました。各クラス1時間程度の短い時間でしたが、事前にまとめた質問内容についてしっかりと勉強することができ、また、新たな発見もあったようで、それぞれ満足した表情で帰って行きました。梯川手づくり学習館は平日9時~17時まで開館しております。梯川について興味がある方は是非一度お越しになって下さい。



小学生によるインタビュー



1階展示水槽の見学



前川排水機場の見学

出前講座に関するお問い合わせはこちら

○金沢河川国道事務所 調査第一課 : TEL 076-264-9910

○ふれあいプログラム「まなVIVA」:

<http://www.hrr.mlit.go.jp/tiiki/manaviva/index.html>



出前講座の申し込み
が出来よ!

当日、小学生から質問があった内容について一部をご紹介します。

【質問 ①】 梯川には何種類の植物があるの? どんな植物が多いの?

【回答】 平成19年度調査では、梯川には456種類の植物が確認されています。よく見られる植物は、ススキ、セイタカアワダチソウ(外来種)、スギナ、イタドリ等です。ヨモギやアケビなども生えており食べることができます。

セイタカアワダチソウ



北米原産で、切り花用の観葉植物として導入された外来種。高さ1~2mになり、秋には濃い黄色の花をつけます。

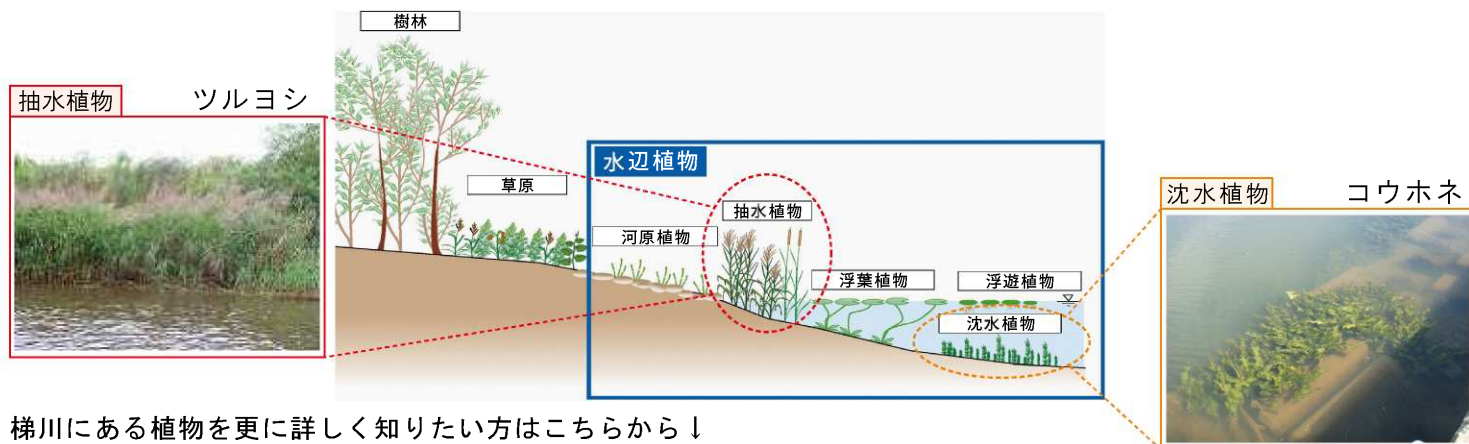
スギナ



春に土筆(つくし)と呼ばれる胞子茎を出し、胞子を放出する。丈は10~15cm程度です。

【質問 ②】 梯川では川の中にも植物が生えているの? あれば、何種類くらい?

【回答】 平成19年度の調査では、沈水植物として3種類(ヤナギモ・コウホネ・ホザキノフサモ)、抽水植物として9種類(オギ・ヨシ・ツルヨシ・セイタカヨシ・マコモ・セキショウ・ミクリ・ヒメガマ・ガマ)が確認されています。沈水植物とは、植物全体が水中にあり水底に根を張っている植物であり、抽水植物とは、水底に根を張り茎の下部は水中にありますが、茎か葉の一部が水上に出ている植物です。



梯川にある植物を更に詳しく知りたい方はこちらから↓

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/river/census/index.html>

梯川河川愛護モニター活動紹介

河川愛護モニターの石田さんに、梯川について感じたことを報告していただきました。ほんの一部ですがご紹介します。

■ 7月の活動報告

石田橋が開通し、市道石田橋線を通行する車両は下流側の城南橋まで渡れる橋がないことから市街地外郭道路として利便性があり、飛躍的に増えている。行政の管轄違いであるが、交通量をカウントする機器を設置していただき実態把握から道路整備（道路拡幅と歩道整備、都市計画道路インター八里線への未完了区間）へと繋げていただきたいと常々思っている。

石田橋の歩道部分カーボナイト暴風板が一部損傷、橋上排水溝の除草や歩道縁石部の除草。

7月14日（水）午後4時 下牧町石田橋左岸～小松出張所巡視。

7月18日（日）午後2時50分 下牧町～天神水管橋右岸～、石田橋に戻り～左岸丸の内町～大川町、茶屋町梯大橋～園町～上小松町～国道305号左岸、川辺町右岸～能美町～千代町船場橋の経路で午後3時30分終了。

空き缶（10個）・ペットボトル（1個）プラ系・紙類 以上買い物袋に一杯分（家庭ゴミ集積日に合わせ分別し出す予定）

【コメント】

貴重なご意見をありがとうございます。道路整備の件については、小松市の担当部署へ伝えておきます。



平成22年度
梯川河川愛護モニター
いしだ ひろあき
石田 広行さん

山・川・海・湖の相談室

金沢河川国道事務所では、手取川・梯川・白山砂防・海岸・手取川ダムに関して、質問・意見など様々なご相談に対応するための窓口を設けており、電話・電子メールで受け付けております。これまでに寄せられたご質問と回答を紹介致します。質問等がありましたら、下記URLよりアクセスして下さい。

http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/mb6_goiken/soudan.html



手取川コミュニティ&スポーツ公園
(川北町与九郎島～山田先出)

● 河川敷での飼料作物の栽培について

【質問】

「河川敷で飼料作物を栽培できないのか」と畜産農家の方から質問がありました。石川県だけでなく、富山県等でも河川敷がグラウンドや畑に利用されているのを見たような気がします。例えば手取川等において河川敷を利用することは可能なのでしょうか。可能であればどのような手続きが必要なのでしょうか。

【回答】

一般的に「河川敷」と呼ばれている河川の土地は一部の私有地を除いて公共用財産となっています。公共用財産である河川を公園やグラウンドなどのように利用する場合は、河川管理者（国土交通省や県等）の許可を受けなければなりません。手取川・梯川においても同様に取り扱われています。また、河川敷（私有地を除く）において作物を耕作することは、原則として認められませんが、過去に国策として食糧増産の必要性から河川管理者の許可を受けている箇所について、耕作を継続している事例があります。手取川においては、公園・グラウンド等の許可事例がありますが、畑の許可事例はありません。現状としては、栽培を許可するまでのハードルが高いですが、今後は河川敷地の一般開放に向けて、議論していく必要があると考えています。

～手づくり学習館からのお知らせ～

昔の梯川の写真を探しています！

手づくり学習館3階展示物リニューアルのため、昔の梯川の写真を探しております。風景写真、川遊びの写真、洪水写真等なんでも結構です。もしお持ちでしたら、下記の連絡先までご連絡下さい。ご協力を宜しくお願い致します。

○テーマ

昭和50年以前の梯川の写真
(例えば、昔よく使った遊び場や今と昔で大きく変わった場所など)

○募集期間

平成23年2月28日（月）まで

○連絡先

金沢河川国道事務所 調査第一課
(電話番号 076-264-9910)

○その他

「明日の小松をデザインする会」が写真を取りに伺います。

お問い合わせ先

国土交通省金沢河川国道事務所調査第一課 TEL076-264-9910

小松出張所 TEL0761-23-4000

ホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>

広報「かけはしがわ」は、ホームページでもご覧になれます。



国土交通省 北陸地方整備局

金沢 河川 国道 事務所